

研究集会「禁裏・公家文庫研究の現段階」

東京大学史料編纂所では長年にわたり、前近代日本史に関わる国内各地の古文書・古典籍、あるいは在外の日本関係史料の調査と画像蒐集を進めてきました。そのなかでも、朝廷ゆかりの史料群は柱の一つとなっています。個別史料の検討に加えて、とくに近代に解体されたり、蔵書体系が大きく改変された公家文庫の復原を意識しながら、大量のデジタル画像を蒐集し、それらに目録を付与して、インターネットや本所図書室で公開してきました。

本年3月末で東京大学概算要求事項「天皇家・公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト（2020～24年度）が終了し、基盤研究A・S・学術創成などの大規模科学研究費により、約27年にわたって継続してきたプロジェクトが区切りを迎えます。

これを機に広く学術関係者に向けて、これまでの成果を振り返るとともに、その実現のための具体的な作業や意図を示して、今後の深化に向けての展望を探ります。

参考：「禁裏・公家文庫研究の窓」<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/kodai/kinri-kuge-index.html>

■主 催：東京大学史料編纂所（禁裏・公家文庫研究プロジェクト）

■日 時：2025年（令和7）3月12日（水） 13：30～16：30

■会 場：オンライン開催

■プログラム

・所長挨拶（13：30）

・報告1（13：35～15：00）

田島公

「四半世紀を経て舞台が整った禁裏・公家文庫研究

—デジタル画像と蔵書目録を用いた前近代の「知の体系」の解明・古典学の進展のために—

《休憩15分》

・報告2（15：15～15：55）

遠藤基郎・芝崎有里子

「禁裏公家文庫史料画像公開でのバックヤードの取り組み

—研究利用に寄り添ったデータベースを目指して—

・コメント・質疑（16：00～16：30）

お申し込みフォーム ▶ <https://forms.gle/6Ffwp7cxzSFGscMZ6>

3月9日（日）締切。前日にzoomのURL等を送信します。

※ご連絡不着の場合のお問い合わせ先

kinrikuge202503-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

